

日本英文学会東北支部ニュースレター

Newsletter

The Tohoku Branch of the English Literary Society of Japan

2023年6月号 (June 2023)

発行 日本英文学会東北支部 〒960-1296 福島市金谷川1番地 福島大学 人間発達文化学類 高田英和研究室内
TEL: 024-548-8156 E-mail: tohoku@elsj.org URL: <http://www.elsj.org/tohoku/>

支部長挨拶

日本英文学会東北支部長 福士 航

今年度より支部長を務めることになりました、東北学院大学の福士と申します。身の丈に合わない大役を仰せつかり、正直申し上げて震え上がっています。中学2年生の秋に、学生服を新調したことを思い出しました。すぐに体が大きくなるだろうからと、必要以上に大きいサイズを選ばされたのですが、とてもきまりが悪かったことを今でも覚えています。成長期の身体は自然と服に合っていました、今回の大きすぎる服に、私が自然と合っていくことはないと自覚しています。一つ一つの業務を適切に積み重ね、次の支部長にバトンタッチできるよう、務めて参ります。支部会員の皆様のご協力をお願いする次第です。今後2年間どうぞよろしくお願い申し上げます。

今年度から、支部長の所属する機関と事務局長の所属する機関とが別々になります。東北支部では初めての試みになりますが、今後はこのようなケースが増えることも予想されます。今後2年間の事務局の体制は、前体制から支部長のみ入れ替わった形となりました。大貫隆史副支部長、高田英和事務局長、川崎和基事務局長補佐、佐藤元樹事務局員の皆様には、引き続き支部の運営にお力添え頂くことになりました。心より感謝申し上げます。

今年度の支部大会は、12月に東北学院大学の新キャンパス（五橋キャンパス）で開催することになりました。交通のアクセスがとてもよい場所にあります。座っておしゃべりのできるラウンジもキャンパス内のあちこちにあります。新型コロナウイルスへの対応が全国的に変更になったタイミングでの開催としては、最適と言える開催地です。会員の皆様におかれましても、コロナ禍でなかなかお互いに顔を合わせられなかったこともあろうかと存じます。支部として開催する懇親会こそ今回は見合わせましたが、便のよい場所で人的交流の機会を提供できることを嬉しく思います。皆様お誘い合わせの上、支部大会にどうぞご参加ください。今後新型コロナウイルスの状況が急変して、遠隔での開催とならないことを祈るばかりです。

本号のNewsletterから、メーリングリストでの発信とHPでの公開に切り換えさせていただきます。先号から郵送とメーリングリストの両方でお送りしておりましたが、メーリングリストに切り換えることに特段の混乱もなさそうでしたので、ご理解頂きますようお願い申し上げます。

東北支部を、会員の皆様の切磋琢磨する場として、積極的にご活用いただきますよう、会員の皆様からのご協力をお願いする次第です。支部大会への参加、『東北英文学研究』へのご投稿を、若手・中堅・ベテラン、全世代の皆様呼びかけて、ご挨拶とさせていただきます。

入退会手続きおよび会費納入について

全ての東北支部会員の入退会手続きおよび会費納入は、支部事務局ではなく本部事務局を通じて行われることとなります。日本英文学会 HP (<http://www.elsj.org/>) に入退会に関する情報がございますので、ご覧下さい。詳しくは本部事務局 (ejimu@elsj.org) へお尋ねください。年会費は、本部会費 (7000 円) + 支部会費 (1000 円) です。

第 78 回支部大会の開催について

2023 年 4 月 8 日 (土) に第 1 回理事会および大会準備委員会が Zoom を用いて開催されました。審議の結果、第 78 回大会は以下の日程で行われる予定です。

日時：2023 年 12 月 9 日 (土)

場所：東北学院大学五橋キャンパス

※対面実施。なお、懇親会は行いません。

研究発表応募要項

第 78 回大会で研究発表をご希望の方は、(1) 研究発表概要 (2000 字・審査用)、(2) 概要の要旨 (400 字・採用された場合に大会プログラムに掲載)、(3) カヴァーレターの 3 点を 6 月 23 日 (金) までに Word 形式の添付ファイルにして、東北支部事務局 (tohoku@elsj.org) までお送りください。

また、(3) のカヴァーレターは、東北支部 HP (<http://www.elsj.org/tohoku/>) よりダウンロードしたものをお使い下さいますようお願い申し上げます。

シンポジウムについて

第 78 回大会で行われる予定のシンポジウムでは、次のような企画が進行中です。どうぞご期待ください。

◆文学部門：Robert Tressell, *The Ragged Trousered Philanthropists* を読む (仮題)

司会・講師：武藤浩史 木下誠 大貫隆史

◆英語学部門：近年の生成文法理論の展開と諸概念の整理 (仮題)

司会・講師：齋藤章吾 堤博一 中島崇法 廣川貴朗

大会準備委員について

今年度の大会準備委員は以下の会員が務めます。

文学部門：

酒井祐輔（宮城学院女子大学：継続）
大野朝子（東北文化学園大学：継続）
相田明子（仙台青葉学院短期大学：新規）

英語学英語教育部門：

深谷修代（新潟食料農業大学：継続）
堤博一（都留文科大学：新規）

開催校委員：

石橋敬太郎（東北学院大学）

編集委員について

今年度の編集委員は以下の会員が務めます。

文学部門：

三枝和彦（山形大学）
宮澤文雄（島根大学）
菊池秋夫（八戸工業高等専門学校）

英語学英語教育部門：

岸浩介（東北学院大学）
廣川貴朗（福井大学）
五十嵐啓太（長岡技術科学大学）

事務局の体制について

高田英和(福島大学)が事務局長を、川崎和基(日本大学工学部)が事務局長補佐を、佐藤元樹(福島大学)が事務局員を務めております。支部大会開催関係事務と会計を高田が、出版関係事務を川崎が、HP管理を佐藤が担当しております。事務局へのご連絡はEメール（tohoku@elsj.org）をお使ください。

理事会報告

2023年4月8日（土）に開催された第1回理事会の議事録を掲載します。

日本英文学会東北支部 2023年度第1回理事会 議事録

日 時 2023年4月8日（土）・14:00～14:40
場 所 Zoomによる遠隔会議

出席者：

支 部 長 福士航（東北学院大学）
副 支部長 大貫隆史（東北大学）
理 事 井出達郎（東北学院大学） 大河内昌（東北大学） 大西洋一（秋田大学）
木村宣美（弘前大学） 三枝和彦（山形大学） 境野直樹（岩手大学）
島越郎（東北大学） 竹森徹士（宮城教育大学）
事 務 局 高田英和（事務局長） 川崎和基（事務局長補佐）

議 題

報告事項

(1) 本部理事会報告

支部支援金が一律2万円減額となることを確認した。また、2024年度の全国大会が東北大学で開催されることを確認した。さらに、2024年の施行に向けてハラスメント防止の仕組み作りが行われていることを確認した。

議事

(1) 2022年度事業報告（資料1）

資料1に基づき、2022年度事業報告があり、承認された。

(2) 2022年度決算報告（資料2）

資料2-1に基づき、報告があり、承認された。

事業費（大会関係）の内訳について質問があり、ラベル等の費用に使用した旨の説明があった。

(3) 2022年度監査報告（資料2）

資料2-2に基づき、監査について報告があり、承認された。

(4) 2023年度事業計画について（資料3）

資料3に基づき、2023年度事業計画について説明があり、承認された。

ニューズレターをメールにて配信している点について質問があり、12～13名のアドレスの不明がある旨の回答があった。

大会発表者の募集周知をホームページとニューズレターで行っているが、ニューズレターでの周知を早めるため、早期の発送の可能性について質問があり、可能であれば発送を早める旨の回答があった。

(5) 2023年度予算について（資料4）

資料4に基づき、2023年度予算について諮り、了承された。

(6) その他

臨時雇賃金支出（事務局謝金）について諮り、了承された。また、研究奨励支出（講演会開催補助金）について諮り、了承された。

以上